

〔優秀賞〕

◇ 題名 男女共同参画社会って何だろう ◇

吉水小学校 5年 亀山 夕葵

みなさんは、男女共同参画社会という言葉を知っていますか。私はその言葉の意味が分からなかったので、調べてみました。

男女共同参画社会とは、男や女といった性別に関係なく、みんな平等にチャンスがあって、何にでもチャレンジできるということでした。自分の身近にそのような男女共同参画社会はないのか思い返してみました。

この間、道を歩いていると、大きなトラックを運転している女の人を見かけました。女の人があんなに大きなトラックを運転しているのはめずらしいなと思いました。なぜそう思ったのかというと、私の父もトラックの運転手をしているので、私の中では男の人がする仕事のイメージが強かったからです。このように、しょく業でもトラックの運転やけい察官、消防士など男の人が多いしょく業があれば、保育士や栄養士、かんご士など女の人が多いしょく業もあります。男の人と女の人で向き不向きもあると思いますが、男女関係なく、自分の好きなしょく業に就ける社会だといいなと思いました。

私の家では、父も母も仕事をしています。ふだんは、母が家事をしていることが多いですが、母が仕事でいないときは、父がお昼ご飯を作ってくれたり、洗たく物を取りこんだりしてくれます。私も自分にできることを考えて、洗い物をしたり、洗たく物をたたんだりできることを手伝うようにしています。家族のだれかに負担がかかりすぎないようにみんな協力していきたいと思っています。こ

の間、母が佐野市の広報誌を見ていて、

「佐野市の議員は女の人一人しかいなかったのね。」

と言っていたので、私も少し気になって広報誌をのぞいてみると、本当に一人しかいませんでした。また、日本の総理大臣も今まで男の人ばかりで、女の方は総理大臣になった人が一人もないということも母から聞いて驚きました。女の方は全人口の半分以上いるのに、政治の世界では男の人が多く、これでは不平等だと思います。テレビのニュースなどでは、女性の政治家が演説をして、活やくしている様子を目にすることもあります。政治の世界でもさらに女の方の考えや意見も今以上に反映される社会になってほしいと思います。

私のクラスでは、男の子も女の子も協力して学校生活を送っています。力持ちの子、字が上手な子、みんなの前で話をするのが上手な子など得意なことは人それぞれだと思います。私たちが大人になっていく未来でも、男の人と女の人それぞれが得意分野を生かして、差別のない平等な社会になることを願っています。